



生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは村民会館へ
TEL 64-2134



村の歴史は 僕たちにまかせて!

大好評だった観光ボランティアガイド

十月三十一日に行われた堀と柳の秋まつりで、関川小六年生が渡邊邸や東桂苑、歴史とみちの館などで観光ボランティアガイドを務めました。六年生児童は、この日のために夏休みから準備を開始。

事前見学を行ったり、インターネットを使って情報収集するなど準備万端。子どもたちは観光客の皆さんに勉強してきたことを精一杯伝えました。新潟市から家族で遊びに来たという女性は「良く勉強し

ているなと感じました。何よりも自己紹介から始まって礼儀正しい。子どもたちが地域のことに関心を持って学ぶ姿がすばらしい」と感心していました。ボランティアガイドを務めた伊藤実那さん(上関)は「勉強してきたことをうまく伝えることができました。人に伝えるということは大変なことでしたが、機会があればまたやってみたい」と感想を話していました。子どもたちにとって、人に伝えることの難しさや人に伝えられたときの嬉しさを感じることができた貴重な一日となりました。



◀5年生は学校田で収穫した「大したもん蛇米」をプレゼントしました。

図書室の窓から

村民会館図書室

図書室は、あなたのクリスマスを応援します!クリスマスパーティーの料理やお菓子、手作りのカードやプレゼントの作り方、クリスマス盛り上げる絵本なども揃っていますよ。

この本よんで!!

「ふゆじたくのおみせ」
ふくざわゆみこ さく E7



クマさんとヤマネくんは贈り物をしようと、ふゆじたくのお店へ買い物に行きました。二人の心温まる交流を描いた一冊。贈り物をする時の相手への思いが伝わってきます。

今月の1冊

「骸骨ビルの庭」
宮本 輝 913ミ



住人たちを立ち退かせるため、八木沢は管理人としてビルに着任する。戦後からそこに暮らす住人たちの、それぞれの人生の軌跡と断ち切れぬ絆が八木沢の心を動かす。



今月の図書館バス

にじ色と、「汽車」のメロディーが目印です。

女川～川北～沢 方面…11(土)・26(日)
大島～大石～片貝方面…18(土)

18日(土)は **おはなしのかい**
みんなできてね!!

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。ろうそくを使っての演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎!無料です!

参加してくれた子どもたちにはかわいいシールをプレゼント!

祝日と毎週水曜日がお休みです。平日は13時～17時30分まで、土・日は9時～17時まで開館しています。

先生から 先生に



齋藤 佑先生

(関川中学校 1年担任)

随想リレー

81

「努力は人を裏切らない」
この言葉は大学の恩師、野瀬清喜先生から頂いた言葉です。
一浪して大学に入学し、柔道部に入部できたのは、四月当初からではありませんでした。「女子柔道部だから入部できない」と話をされ、夏ごろまでは自分がやりたいことができないからか、目的もなく、何をしたいのかも分からずに大学生を送っていました。
そんな自分が嫌で、自分探しの目的でアメリカの大学に一ヶ月半、語学留学しましたが、滞在中も何か物足りない生活を送っていました。帰国しても、目的も定まらない生活を送っていた矢先、偶然、ふとしたところで、野瀬先生と出会いました。自分から先生のところに向かい、「明日から柔道をさせてください」と頭を下げ、お願いしました。今思えば、藁にもすがる思いだったのでしょうか。
「一年間、必死に練習をしていたら、胸に大学の名前が入った柔道着を着て、試合に出場で

きる」という条件で私の大学での部活動はスタートしました。練習は埼玉大学で、自分の大学から片道十五分、毎日自転車で行っていました。柔道ができると思えば苦にはなりません。練習はきつく、大変でした。選手生活の半分ほどは、ケガとの戦いでした。自信をなくし、大宮駅に電車が停車すると、思わず新幹線に飛び乗りたい思いも何度もありました。電車の中で何度も泣いたのを思い出します。「新潟に戻って教員になる」という自分の夢がいつも自分自身を支えてくれていたのかもしれない。
関川中学校に赴任して三年。思えば、年齢も二十代から三十代に突入しました。最近、ふと自分自身の未来像を考えています。
毎日、元気の挨拶。学校生活で見せる満点の笑顔。そして、自分の未来に向かって一歩一歩、歩んでいる子どもたち。生徒とともに私も歩みを止めず、一歩一歩理想の自分に向けて歩いていきたいと思っています。

1月1日号は、関川小学校の松井恭子先生にバトンタッチ！

▶ 寄贈される積載車と同型のもの



日本損害保険協会から 消防積載車が寄贈されます

日本損害保険協会では、防災活動の一環として、毎年、全国に20台の消防積載車を寄贈しています。

今年は、本県へ1台の割当があり、その1台が村へ寄贈されることが決定しました。

寄贈された積載車は、12月2日に関川小学校で披露され、受納式の後で、第1分団第1部(下関)に引き渡す予定となっています。

▶ 子どもたちの元気な歌声が体育館に響きわたりました



閉校後、初の霧出まつり

秋も深まった十一月十四日、土沢ふれあい自然の家(旧土沢小学校)で霧出まつりが行われました。今年の霧出まつりは、旧土沢小学校の閉校後、初の開催。

主催者を代表して霧出郷コミュニティの伝信男会長が「一時は開催も危ぶまりましたが、こうして開催することができ大変嬉しく思います。霧出を想う心を、この旧土沢小学校に寄せていただきたい」と挨拶。オープニングは、関川小学校に通う霧出地区の子どもたち約四十人による合唱で幕開け。休み時間を利用して練習を重ねてきたという子どもたちは校歌など三曲を披露しました。また、唄や踊りの他にも、健康づくり推進委員による健康教室や農産物品評会なども行われました。